

特別入学者選抜のための学力検査の概要
各教科の出題のねらい、結果の概要、応答率

第2 各教科の出題のねらい、結果の概要と授業改善の視点等、応答率及び問題

1 国語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

思考力、判断力、想像力を働かせて国語を正確に理解し適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- ① 漢字を読むことや書くこと、多義語、敬語、熟語の構成、四字熟語、情報活用や発表に関する知識等、国語の基礎的な知識や事項について理解の程度をみる。
- ② 古典を扱った説明的な文章によって、古典における基礎的事項、文脈の中における語句の意味について理解の程度をみる。また、文章の展開に即して理解したことを適切に表現する力をみる。
- ③ 文学的な文章によって、登場人物の言動の意味や心情を文章の展開に即して理解したり、理解したことを端的に表現したりする力をみる。また、登場人物の言動の意味や心情を反映した表現上の特徴について理解の程度をみる。
- ④ 説明的な文章によって、文脈の中における語句の意味について理解の程度をみる。また、文章の展開に即して理解したことを端的に表現したり、文章全体を俯瞰的に捉えて筆者の主張を正確に読み取ったりする力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

漢字の読み、多義語や四字熟語の意味、古典の知識等、国語の基礎的・基本的な知識や言語事項に関する問題では、正答率がいずれも8割以上と高かった。また、ある程度限られた範囲の中で部分的に文章の内容を読み取り、選択肢によって解答する設問では、正答率は7割を超えた。

一方で、熟語の構成の設問では、条件に従って複数の選択肢を選び取ることはできていたが、正答率が2割弱にとどまった。漢字の読みや書きに加え、漢字のもつ意味についても理解を深め、丁寧に練習することが求められる。また、文章全体を踏まえて内容を理解する力をみる設問では、いずれも正答率は3割を下回った。象徴的な表現が多かったためか、文章を通して筆者が伝えようとしていることを把握しづらかったのであろう。一語一語にこだわって言葉を吟味したり、あらゆることに関心を寄せてさまざまな文章に親しみ、文章に書かれた内容を俯瞰して捉えたりすることに課題があると思われる。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式			応答率 (%)				
				選択	短答	記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答	
1	①(1)	えつらん	1		○		85.5		0.0	14.0	0.5
	①(2)	わく	1		○		91.5		0.0	7.5	1.0
	①(3)	改札	2		○		32.5	23.5		26.0	18.0
	①(4)	快く)	1		○		65.5		0.0	21.5	13.0
	②(1)	キ	1	○			94.5		0.0	5.5	0.0
	②(2)	ウ	1	○			98.0		0.0	2.0	0.0
	③	エ	2	○			14.5		0.0	85.5	0.0
	④	ア オ	2	○			18.0		0.0	81.5	0.5
	⑤(1)	イ	2	○			92.5		0.0	7.5	0.0
	⑤(2)	せっかくの(~)強調される	2		○		38.0	1.5		57.5	3.0
	⑤(3)	馬の無関心ぶり	2		○		71.5	5.0		13.5	10.0
	⑤(4)	ア	2	○			65.5		0.0	34.5	0.0
2	①	イ	2	○			88.5		0.0	11.5	0.0
	②	ゆえ	1		○		93.0		0.0	7.0	0.0
	③X	同じ表現にならない	3		○		6.0	5.5		72.5	16.0
	③Y	観客に秘密にする	3		○		3.5	3.0		71.5	22.0
	④	エ	3	○			70.5		0.0	29.0	0.5
	⑤	ア	3	○			26.0		0.0	73.0	1.0
3	①X	今、ちゃんと生きてここにいるんだ	2		○		23.0	9.0		61.0	7.0
	①Y	不思議な存在感を放つ	2		○		63.5	3.0		18.5	15.0
	②(1)	ウ	2	○			56.0		0.0	44.0	0.0
	②(2)	ア	2	○			46.0		0.0	53.5	0.5
	③	ルイが欲しがったことに驚く	5		○		31.0	43.5		18.5	7.0
	④	エ	3	○			60.0		0.0	40.0	0.0
	⑤	イ	4	○			55.5		0.0	44.0	0.5
4	①	ウ・カ	4	○			74.5	23.0		1.5	1.0
	②	イ	2	○			84.5		0.0	15.0	0.5
	③	時間と空間を飛び越えた別の世界	2		○		56.0	2.0		20.5	21.5
	④	想像力を働かせ続ける	4		○		3.0	20.0		47.0	30.0
	⑤	ウ	4	○			28.0		0.0	69.5	2.5

2 数 学

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

数量、図形などに関する概念や原理・法則についての理解の程度と、思考力や判断力を働かせて事象を数理的に考察したり、思考の過程などを論理的に表現したりする力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として各領域から幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 基礎的な計算、式の展開、二次方程式を解くなど、数学的な技能の程度をみる。
- 2 各領域における、基礎的な内容の知識・理解の程度をみるとともに、基本的な作図技能の程度をみる。
- 3 一次関数とそのグラフに関する基本的な内容の知識・理解の程度をみるとともに、それらを活用して問題を解決する力をみる。
- 4 数量の関係を的確に捉え、文字を用いた式で表現する力や、それらを活用して問題を解決する力をみる。
- 5 ヒストグラムや度数分布表、度数分布多角形（度数折れ線）について、データに関する知識・理解の程度をみるとともに、論理的に思考する力や思考した過程を筋道立てて表現する力をみる。
- 6 図形についての知識・理解の程度をみるとともに、それらを活用して図形の特徴を考察し問題を解決する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

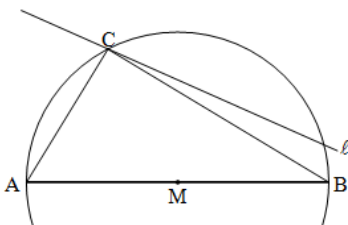
基本的な計算を中心として、基礎的・基本的な事項についての設問や、与えられた条件をもとに具体的な数を表に書き入れる設問、度数分布表に対応するグラフを選択する設問では正答率が全般的に高かった。

一方で、定理を利用して作図をする設問、二等辺三角形の性質を利用して線分の長さを求める設問、具体的な数値をもとに事象を一般化する設問では正答率が低かった。また、二つの図を比較して当てはまる特徴を選択する設問、自己の考えを整理し適切に表現する設問、成り立つ事柄をもとにして問題を解決する設問は正答率が低いものがあった。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式		応答率 (%)				
				選択	短記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答	
1	①	1	2	○		94.0		0.5	5.5	0.0
	②	$-\frac{1}{6}$	2	○		88.0		0.0	12.0	0.0
	③	2	2	○		94.5		0.0	5.5	0.0
	④	$5a$	2	○		83.5		0.5	16.0	0.0
	⑤	$-\sqrt{2}$	2	○		72.5		1.0	23.5	3.0
	⑥	$x^2 + x - 30$	2	○		89.5		0.5	8.5	1.5
	⑦	$\frac{-1 \pm \sqrt{17}}{4}$	3	○		65.0		0.0	30.5	4.5
2	①	ウ	2	○		78.0		0.0	22.0	0.0
	②	63π	2	○		63.0		0.0	33.0	4.0
	③	$\frac{3}{10}$	2	○		55.5		1.5	40.0	3.0
	④	7, 8	2	○		46.0		0.0	44.5	9.5
	⑤	※作図記述	3		○	13.5		3.0	63.0	20.5
3	①	イ	2	○		44.5		0.0	55.0	0.5
	②	8	2	○		31.5		1.0	64.0	3.5
	③	(1, 3)	3	○		61.0		0.5	27.0	11.5
	④(1)	$\sqrt{5}$	2	○		33.0		0.5	53.0	13.5
	④(2)	$\frac{\sqrt{2}}{2}$	3	○		2.5		2.0	70.0	25.5
4	①(あ)	35	2	○		94.5		0.5	5.0	0.0
	①(いう)	(い) 6 (う) 7	2	○		84.0		3.0	13.0	0.0
	②(え)	$n+1$	2	○		38.0		0.0	60.0	2.0
	②(お)	$6n$	2	○		18.5		0.0	68.0	13.5
	③	127	3	○		4.5		0.0	68.5	27.0
5	①(1)	4回以上 6回未満	2	○		75.0		0.0	25.0	0.0
	①(2)	ア ウ	2	○		28.0		0.0	72.0	0.0
	②(1)	ア	2	○		80.0		0.0	20.0	0.0
	②(2)	※説明記述	3		○	9.5		3.5	58.5	28.5
6	①	$\frac{1}{4}$	2	○		74.5		0.0	25.5	0.0
	②(い)	※説明記述	3		○	9.0		4.5	49.5	37.0
	②(う)	エ	2	○		57.0		0.0	41.5	1.5
	③(1)	30	2	○		40.0		0.0	37.0	23.0
	③(2)	$6\sqrt{3}-9$	3	○		0.5		0.0	51.5	48.0

2 ⑤ 作図記述



5 ②(2) 説明記述

1日あたりの読書時間について、1年生全員の合計は、 $20 \times 42 + 35 \times 28 = 1820$ (分)である。
1年生全員は70人だから、
 $\frac{1820}{70} = 26$ (答) 26分

6 ②(い) 説明記述

$\angle POQ = 90^\circ$ だから、
 $\angle POC = 90^\circ - \angle COQ$ である。
また、 $\angle COD = 90^\circ$ だから、
 $\angle QOD = 90^\circ - \angle COQ$ である。

3 英語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

思考力や判断力を働かせて英語を理解し、適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として、英語の言語活動の全領域にわたって幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- ① 話される英語の内容を正しく聞き取る力や適切に応答する力をみる。また、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報・要点を聞き取る力や聞き取った内容を踏まえて英語で表現する力をみる。
- ② 英語の学習場면을素材として、基礎的・基本的な単語や文法事項等の理解の程度をみるとともに、実際のコミュニケーションにおいてそれらを適切に活用する力や与えられた情報に基づいて適切に英語で表現する力をみる。
- ③ 英語による会話と会話の内容に関係する資料から、英文と資料を関連させて情報を選択する力をみる。
- ④ 英語で発表する場면을素材として、発表の英文、グラフ資料、会話の英文をそれぞれ関連させて英語の内容を正確に理解したうえで、段落の概要を整理してまとめる力や文章の論理展開・要点を把握する力をみる。
- ⑤ まとまりのある英語の文章から、内容を正確に読み取る力や段落の概要、文章の論理展開・要点を把握する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

英語を聞いて説明されている内容として正しいものを選ぶ設問や、必要な情報や要点を聞き取る設問では正答率が高かった。一方、まとまりのある英語を聞いて、聞き取った内容を踏まえて英語で表現する設問では正答率が低かった。

基礎的・基本的な単語の理解の程度をみる設問の正答率が高いものもあったが、それらを活用して英語で表現する設問では正答率は低かった。また、内容を正確に読み取り、日本語で説明する設問や英単語で表現する設問の中にも正答率が低いものがあった。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式			応答率 (%)						
				選択	短答	記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答			
1	A(1)	エ	2	○		98.0		0.0		2.0		0.0	
	A(2)	イ	2	○		80.0		0.0		20.0		0.0	
	A(3)	ア	2	○		57.0		0.0		43.0		0.0	
	B(1)	イ	2	○		50.5		0.0		49.5		0.0	
	B(2)	ウ	2	○		75.5		0.0		24.5		0.0	
	C(1)	エ	2	○		90.5		0.0		9.5		0.0	
	C(2)	エ	2	○		70.5		0.0		29.5		0.0	
	C(3)	watch movies in English	3		○	12.0		6.5		49.5		32.0	
2	①(あ)	ア	2	○		66.5		0.0		33.5		0.0	
	①(い)	ウ	2	○		68.5		0.0		31.0		0.5	
	②(う)	park	2		○	88.0		2.0		6.5		3.5	
	②(え)	night	2		○	72.0		0.0		22.5		5.5	
	③(お)	written	2		○	57.0		0.0		36.5		6.5	
	③(か)	sister	2		○	9.0		0.0		73.5		17.5	
	④(1)	going	2		○	29.5		4.0		61.0		5.5	
	④(2)	have been looking	2		○	11.5		2.5		79.0		7.0	
⑤	how to play baseball	3		○	17.0		2.5		66.5		14.0		
3	①	エ	2	○		25.5		0.0		74.5		0.0	
	②	エ	2	○		36.5		0.0		63.5		0.0	
	③	hot	2		○	47.0		1.0		43.0		9.0	
	④	イ	2	○		23.0		0.0		76.0		1.0	
4	①	ウ	2	○		60.0		0.0		39.5		0.5	
	②(1)	イ エ	2	○		56.5		0.0		43.5		0.0	
	②(2)	魚にいつえさを与える	2		○	25.0		1.5		54.0		19.5	
	③	three	2		○	15.5		0.0		63.5		21.0	
	④	エ	2	○		44.0		0.0		55.5		0.5	
⑤	ウ	2	○		36.0		0.0		61.5		2.5		
5	①	doctor	2		○	44.5		2.5		43.0		10.0	
	②	ア	2	○		56.5		0.0		43.5		0.0	
	③	イ	2	○		35.0		0.0		64.5		0.5	
	④	エ	2	○		37.5		0.0		61.5		1.0	
	⑤	エ→ イ→ ウ→ ア	3	○		24.5		0.0		71.5		4.0	
	⑥	ウ エ	3	○		10.5		0.0		83.5		6.0	